

科目ナンバー	C4302	要件	教職必修	授業形態	講義	対象学生	I A B
授業科目	国語表現法						
実施期	前期	単位数	2単位	授業者	東中 章晃		
〔科目の概要〕							
<p>保育者として、国語についての正しい知識や技能を学ぶとともに、小学校との接続も踏まえて小学校学習指導要領に定められた低学年国語の目標及び内容を中心に「話す」「聞く」「書く」「読む」といった国語表現に関する基本的な事項と、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について学ぶ。</p>							
〔この科目を通して獲得を目指す力〕							〔関連DP〕
ア	日本語の特性及び「話す」「聞く」「書く」「読む」といった国語表現に関する基礎的な事柄、小学校学習指導要領国語科の目標及び低学年の目標・内容について理解している。						1-a
イ	目的に応じたテーマを設定し、論旨の整った文章を書いたり筋道立てて伝え合ったりすることができる。						2-b
ウ	必要に応じた情報を、適切に判断して書物から選択し整理することができる。						3-a
エ	読書活動を通して日頃から様々な文章に触れるとともに、図書館を積極的に活用しよう意識している。						4-b
〔授業の内容〕				〔実施日〕	〔授業時間外学習の内容〕		
1	授業についての概要説明 — 日本語の特性や幼児期からの言語活動の育成を解説 —			月 日	「母語」の意味を確認する。(1時間)		
2	国語の特質について (1) 国語に関する一般常識			月 日	文章における主述関係や係り受けを確認する (1時間)		
3	国語の特質について (2) 漢字の成り立ちと特性			月 日	「国語便覧」等を活用して確認する。(1時間)		
4	伝統的な言語文化 (1) 漢字の読み書きと語彙、慣用句、仮名遣い			月 日	「ぶんたん検定」を活用して確認する。(1時間)		
5	伝統的な言語文化 (2) 話し言葉と書き言葉			月 日	練習問題に取り組む。(1時間)		
6	伝統的な言語文化 (3) 敬語の概念、尊敬語、謙譲語、丁寧語			月 日	練習問題に取り組む。(1時間)		
7	小学校国語科の本質・目標・内容・指導方法の構造 — 学習指導要領を読む —			月 日	配付した「学習指導要領」を読む。(1時間)		
8	「話すこと・聞くこと」の内容と4項目の言語活動例及び「獲得を目指す力」の確認			月 日	4項目の言語活動例を読み返す。(1時間)		
9	「書くこと」の内容と5項目の言語活動例			月 日	「書くこと」の内容を読み返す。(1時間)		
10	「読むこと」の内容と5項目の言語活動例			月 日	「読むこと」の内容を読み返す。(1時間)		
11	文章表現の基本 (1) 短く簡潔な文章と明確でわかりやすい文章			月 日	基本的な文の構造について理解しておく。(1時間)		
12	文章表現の基本 (2) 主題・構成・推敲等			月 日	目的に即した文章構成について理解しておく。(1時間)		
13	課題文章の作成 (1) 説明文の作成			月 日	課題文章を完成する。(1時間)		
14	課題文章の作成 (2) 意見文の作成			月 日	作成文の発表の仕方を考える。(1時間)		
15	意見文の発表 — 相互評価を通して文章の組み立てを考える —			月 日	前回までの学習内容を振り返る。(1時間)		
16	テスト			月 日	テストの内容を振り返る。		
〔教科書・テキスト〕				〔成績評価の方法〕			
適宜、資料を配付する。				テスト成績 50%、提出課題 20% 学習意欲・受講態度 30%			
〔参考書・教材〕							
適宜紹介する。							
〔履修要件及び履修上の注意事項〕							
〔履修上の遵守事項〕							
〔連絡先・オフィスアワー〕							
連絡先：図書館事務室				オフィスアワー：			

＜チェックシート＞					
指標		基準	レベル1	レベル2	レベル3
ア①	日本語の特性及び国語表現に関する基礎的事項としての話し言葉、書き言葉、主述関係、修飾・被修飾関係、動詞の表現	母語としての日本語の特性や話し言葉と書き言葉の違いを説明できる。	主語・述語の関係や助詞の正しい使い方を理解して文意を読み取っている。	修飾・被修飾の関係や動詞の可能表現・使役表現を正しく理解して文章を作成できる。	
ア②	国語表現に関する基礎的事項としての敬語及び比喩表現	尊敬語・謙譲語・丁寧語の違いを正しく説明でき、直喩法と隠喩法の例を示すことができる。	尊敬語・謙譲語・丁寧語を正しく用いて会話できるとともに、擬態語や擬音語を適切に用いた話し方の工夫ができる。	尊敬語・謙譲語・丁寧語を正しく使って文章を作成できるとともに、擬人法を用いた文例を探して指摘できる。	
ア③	小学校学習指導要領国語科及び低学年の目標と内容	学習指導要領に示されている国語科の目標・内容について正しく読み取ることができる。	話すこと・聞くこと・書くこと・読むことの力を育成するためには、本の読み聞かせや相互発表の場が必要であることに気付いている。	言葉の特徴やきまりについて扱う低学年国語科の内容について、幼稚園教育要領「ことば」領域と関連付けて説明できる。	
イ①	目的に応じたテーマの設定と基本的な文章表現の技術	目的に応じて適切なテーマを設定し、その表現に適した文章構成を選択することができる。	仮名遣いや句読点を正しく用いて、基本的な文章構成に基づく文章を作成することができる。	一文の長さに配慮して接続語を適切に用い、明確でわかりやすい文章を作成することができる。	
イ②	論旨の整った文章の作成、筋道立てた話し方	論旨を組み立てていくため、自分の考えを短く簡潔な文章として作成することができる。	自分の考えを短く簡潔に言い表し、相手に正しく伝えることができる。	論旨が整っているか否かを、作成した文章の推敲作業を通して判断することができる。	
ウ	書物からの的確な情報収集と整理、内容選択の視点、内容の使い方のルール	読書を通して自分が求める情報を的確に収集・整理でき、課題解決に向けた活用方法について考えることができる。	学習指導要領に示されている、話すこと・聞くこと・書くこと・読むことの内容について、言語活動と結びつけて読み取ることができる。	目的や必要に応じた書物を探し、引用に際してのコンプライアンスを意識して適切に活用しようとしている。	
エ	日頃から様々な文章に触れようとする読書活動への意欲、図書館の積極的な活用	日常生活の中で、時間を見つけて新聞を読んだり小説等を読んだりするように心掛けている。	図書館を積極的に利用し、望ましい読書習慣を身に付けようとして心掛けている。	幼児教育に関する様々な書物を積極的に読み、知識等を広げようとして心掛けている。	

この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等